

城南魂

正しい心
美しい心
粘り強い心

あなたは、何を一番先に入れますか？

さて、いよいよ終業式です。そして、待ちに待った夏休みです。学校がやっている期間と比べると、一日で「自由に使える時間」が長くなる人がほとんどかと思えます。

「自由に使える時間」ということで、1つ紹介したい話があります。ある大学の授業で、教授が大きな「ツボ」を取り出し、クイズをはじめられたそうです。

教授はそのツボの中に「石」を一つ一つつめていきました。ツボがいっぱいになるまで石をつめると、教授はみんなに言いました。

「このツボはもう一杯か？」

教室中の学生は、「ハイ！」と答えました。

「本当に？」と言うと、教授は「砂利」の入ったバケツを取り出して、石と石の間に砂利を流し込みました。そして、もう一度聞きました。

「このツボはもう一杯か？」

・・・一人の学生が「多分違う」と答えました。

教授は「そうだ！」と笑いながら、机の下から、砂利よりも、もっと細かい「砂」を石と砂利の間に流し込んだ後、三度目の質問をしました。

「このツボは、これで満杯になったか？」

・・・学生たちは声をそろえて「いいえ！」と答えると、教授は机の下から「水」の入ったバケツを取り出し、水をツボのふちまでいっぱい流し込み、こう言いました。

「私が何を言いたいか、わかるか？」

1人の学生が、手を挙げて答えました。

・・・「どんなにスケジュールが詰まっていて、忙しい時でも、努力すれば予定を詰め込むことが可能だということですか？」

「それは違う！」と教授。

『重要なポイントは、そこではないんだよ。この例が私たちに示してくれているのは、先に大きな石を入れないと、それが入る余地は、その後、二度とない。ということだ。(先に、細かい砂や砂利でいっぱいにしてしまうと、大きな石は一個も入らないということ)

このツボは人生そのものを示している。

では、私たちにとって「大きな石」とは何だろうか？・・・それは「仕事」であったり、「愛する人」であったり、「家族」であったりする。また、「自分の夢」であったり、「志」であったりもする。

つまり、「大きな石とは、君たちにとって一番大切なもの」だ。それを最初にツボの中に入れなさい。さもないと、君たちは、それを永遠に失うことになる。』

・・・さて、あなたにとって、「一番大きな石」とは何でしょうか。

一番大切なものを、毎日、一番大切にしながら生きるのです。身のまわりにはたくさんの誘惑があります。テレビ、ゲーム、スマホ、などなど・・・。そこに時間を費やしてしまうか、一番大切なことに時間を費やすのか。夏休みの「自由に使える時間」は、実はツボの中に、自分で選んで中に入れるという時間と言えます。3年生は、SAGAテストが控えています。1,2年生は、部活動が新しい体制になり頑張ろうと思っている人も多いかと思えます。何に時間を使うのか、しっかり考えて夏休みを過ごしましょう。

～保護者様へ～

充実した夏休みを送るために、各学年から学習面や生活面に関して話をしています。命にかかわることや、SNSなどの使い方には十分気を付けて、健康的な生活を心がけるようにご家庭でもお話してください。生活面の詳しい部分は「令和6年度 夏季休業中の生活について」を配付しておりますので必ず目を通して下さいますよう、お願いいたします。